

骨密度検査が新しくなりました

【変更点】

両手のX線写真を撮る検査方法から、足のかかると超音波を当てて検査を行う方法に変わりました。X線を使用しないので、被曝の心配もありません。

検査の方法は椅子に座り、装置に足を置くだけです。数十秒で終了します。

また、検査結果がすぐにわかり、診察時に医師から説明を受けることも可能です。

価格もX線に比べて超音波での検査は低価格になっています。

X線を利用した検査 : 1,620円(税込)

超音波を利用した検査 : 864円(税込)

※足のかかるとで検査を行いますので、ストッキング等は脱いで頂きます。ご注意ください。

■骨粗鬆症とは

骨は一度できると変わらないイメージがありますが、常に古い骨を壊し、新しい骨を作っています。新しい骨が作られる量が少なくなると、**骨がスカスカになります。この状態を骨粗鬆症といいます。**

■骨粗鬆症は女性に多い疾患です

骨粗鬆症は圧倒的に女性に多く、閉経を迎える50歳前後から骨量が急激に減少し60歳代では5割、70歳以上では7割の人が骨粗鬆症といわれています。

これは閉経により分泌が低下する女性ホルモン(エストロゲン)が骨を作る働きに関わっているからです。また、偏食や極端なダイエット、遺伝、喫煙、過度の飲酒運動習慣なども原因と考えられています。

○骨粗鬆症になると、下記のような状態になることがあります。

- ・ 転んただけで骨折する。
- ・ 身長が縮んでくる。
- ・ 背中や腰が曲がる。
- ・ 背中や腰の激しい痛みで寝込んでしまう。
(寝たきりの原因第三位です)

